**市政トピックス**

**●学校生活の改善に向けて中学校生徒会サミットで討論**

　　7月31日、鳴子中学校で、市内の中学校11校による第20回おおさき中学校生徒会サミットが開催されました。今回のサミットは「学校生活の改善に向けて～一人一人ができること」をテーマに、参加した39人の生徒が8つのグループに分かれて意見を出し合いました。

　各グループでは、「大崎市の中学生として目指す理想の姿」や、「校歌を大きな声で歌うにはどうするか」などを話し合いました。生徒たちは改善につながるキーワードなど、自分の考えを付箋に書き込んで発表し、同じような意見をグループ分けしてまとめていました。

　サミット終盤では、それぞれのグループで話し合った意見を発表しました。「大崎市の中学生として目指す理想の姿」について話し合ったグループからは「相手の立場に立ち、思いやりの心を持つ」、「常に周りに気を配り、困っている人がいたら見て見ぬふりをしない」などの意見が出されました。

　閉会行事では、参加した生徒から「今回この中学生サミットに参加し、いろいろな意見を聞くことができた。一人では思いつかない意見もたくさんあり、非常に参考になった」と感想が述べられました。

　参加校は話し合いで出た意見を持ち帰り、学校生活の改善に向け、生徒会活動の取り組みなどに生かしていきます。

**●姉妹都市 台東区と友好都市 港南区、市内の小・中学生が交流しました**

　　東京都台東区と本市は、旧古川市に東北新幹線が開通したことをきっかけに、昭和59年から姉妹都市提携を結んでいます。

　8月4日、市内の小・中学生が台東区を訪問し、スポーツ交流少年団大会が行われました。

　この交流は、さまざまなスポーツを通して互いの町を知り、友情を築いてもらおうと、昭和59年から行っています。今年は、空手道に励む小・中学生16人が参加しました。

　また、友好都市の横浜市港南区と旧三本木町は、それぞれの町（区・市）の花がひまわりであることから、昭和63年以来、交流が続いています。

　毎年8月は、「ひまわり生活体験交流事業」が行われ、昭和63年から毎年、小学生が相互に訪問しています。

　今年は交流30周年を記念し、港南区から30人の小学生が3日間の日程で訪れました。参加した児童は、ひまわりの丘や岩出山地域の探索など、大崎の魅力に親しんでいました。

　市では、「ふるさと」の意識を育むことや地域の活性化を目的として、今後もさまざまな都市と交流事業を行っていきます。

**●2018　8月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 2日 | ●おおさき花火大会 |
| 3日 | ●古川まつり（～4日） |
| 8日 | ●平成30年第2回大崎市議会臨時会  ●岩出山凍り豆腐 農林水産省地理的表示（ＧＩ）保護制度登録報告 |
| 14日 | ●まつやま夏まつり  ●三本木夏まつり  ●鹿島台わらじまつり |
| 13日 | ●西日本豪雨被災地支援派遣隊報告会 |
| 15日 | ●鳴子温泉地域成人式  ●平和のつどい |
| 20日 | ●古川地域交通死亡事故ゼロ６か月達成感謝状贈呈式 |
| 25日 | ●●大崎市民パークゴルフ大会  ●おおさきジャンボ肉まつりinたじり（～26日） |
| 30日 | ●包括連携協定合同締結式 |
| 31日 | ●第64回全国こけし祭り・第28回鳴子漆器展（～9月2日） |

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと，親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり，おらほの隠れた名所，おらほのおいしい特産品，おらほの伝統のまつり，おらほのイベント・・・。

そんな，愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●古川発　泥まみれの愉快なバレー大会**

　7月28日、古川地域小泉地区で、「第9回泥んこバレーin小泉」が開催されました。

　休耕田を活用し、住民同士の交流を深めようと、平成22年から毎年恒例となったこのイベント。3人1チームで試合が行われ、今年は市内外から22チームが参加しました。

　田んぼのコートで行われる試合は、やわらかい泥に足がとられて、思うように進みません。必死でボールを追いかけ、泥んこまみれになる参加者の姿に、応援にかけつけた友人や来場客、対戦相手はみな笑顔で、会場は歓声と笑い声であふれていました。

**●田尻発　若者の活躍で夏祭りを開催**

　8月13日、田尻地域大貫地区が「かんぼやま夏祭り」でにぎわいました。

　かんぼやま夏祭りは、「大貫をなんとかしたい！」と集まった青年組織「大貫衆十壱組」が平成21年に夏祭りを復活させて以来、毎年大貫の夏を盛り上げています。

　オープニングでは十壱組メンバーが指導した大貫小学校の児童が踊りを披露したほか、「地域活動の始まり」と高校生が組織する「壱組」も、出店で活躍しました。露店やステージの運営を担うスタッフと、祭りを楽しむお客さんは、みな地元同士。お盆中の開催もあって、家族や旧友と談笑する声でにぎわっていました。

　大貫地区や田尻地域で、まちづくりを担う次の世代の活躍が期待されます。

**●岩出山発　市の花「ひまわり」が咲き誇りました**

岩出山地域の大保行政区で、市の花「ひまわり」植栽コンクールが開催されました。

　このコンクールは、市の花ひまわりに地区全体で親しもうと、加藤示二区長の呼びかけにより、地区の34件がコンクールに参加。7月25日には、より美しく開花させた人に、加藤区長から表彰状が授与されました。

　大保地区は国道47号と並行して北側に位置しており、国道からは見事なひまわりを見ることができました。それぞれ自宅の庭や畑に植えられたひまわりは、7月下旬に一斉に開花し、夏らしい黄色と緑色の景色が広がっていました。